

泌尿器科

【当院泌尿器科研修の特性・特徴】

当科は、腎、尿管、膀胱、尿道の尿路系（尿の流れる部分）および前立腺、精巣、陰茎（男性生殖器と称します）、そして副腎という内分泌臓器（ホルモンを分泌する臓器）、さらには後腹膜（腹膜に包まれた腸の裏にある場所）に発生する疾患を取り扱っています。腎臓癌、膀胱癌や前立腺癌などの悪性腫瘍から前立腺肥大症や尿路結石、尿失禁などの良性疾患まで、外科的治療を中心に診療を行っています。癌拠点病院という性格上、悪性腫瘍疾患の占める割合が多く、その治療成績向上に全力を注いでいます。また最近では過活動膀胱や尿失禁、ED（勃起障害）などの生活の質（QOL）に関わる疾患にも力を入れています。当科は年間約 1000 例手術件数をこなしており、大学病院を含めた中四国では最も症例数/手術数が多く、全国でも有数の施設の一つであるとともに、近年進歩している低侵襲治療である体腔鏡手術などの最新医療技術も積極的に取り入れ、さらには 2012 年 9 月からは手術用ロボット da vinci を導入しており、全国でもっとも数多くロボット手術をおこなっている施設の一つです。2014 年から新しくロボット手術を始める医師に義務づけられている症例見学の対象施設に認定されました。このように当科は全国的にみても最も先進的な泌尿器科です。臨床研修指定病院として研修体制も整っており、4 名の専門医と 3 名の後期研修医による充実した実習が可能です。

【一般目標】

- 1) 医療者の一員として診療に従事することで、医師としての責任感、職業的な技能、思考法、態度を、自らの実践の中で学ぶ。
- 2) 基本的診療手技とコミュニケーション技能を身につけ、患者およびその家族と良好な対人関係を築いて診療を進めることができるようになることを目指す。
- 3) 講義で学んだ知識を再確認し、また、講義では得られなかった、より実践的な知識を身につける。
- 4) 担当する患者の問題の理解に、基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を応用でき、病因・病態の理解から診断・治療までの一連の流れを総合的に理解する科目横断的な知識の応用と、問題解決型の思考過程を身につけることを目指す。
- 5) 実際の医療に直接接するなかで、自分の将来の医師像を具体的に構築する。

広島市立広島市民病院

【到達目標（行動目標）】

- 1) コミュニケーションを通じ、患者および家族と良好な人間関係を築くことができる。
- 2) 基本的な診療知識に基づき、患者および家族から診療に必要な情報を収集し、取捨選択して整理できる。
- 3) 身体診察を適切に実施し、所見を解析してその後の診療に必要な情報を収集できる。
- 4) 主要な症候を理解し、鑑別診断の原則に基づいて以後の診療の計画を立案することができる。
- 5) 泌尿器科領域で用いられる主要な検査について、概要、有用性、限界、危険性を説明し、結果を解釈できる。
- 6) 泌尿器科領域における主要疾患について、症候、病態、診断、治療を説明できる。
- 7) 収集した情報を基に、POMR<問題志向型診療記録>を作成できる。
- 8) 症例を要約する習慣を身につけ、状況に応じて適切な長さで提示することができる。
- 9) 診療に必要な知識・情報（MEDLINE やインターネット上で公開されている各種の診療ガイドライン等の電子化情報を含む）を、適切に検索・収集することができる。
- 10) 医療チームの構成や各構成員（医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制について説明し、チームの一員として参加できる。

【注意事項】

- 1) 端正な服装を心がけ、清潔な白衣を着用すること。ネームプレートを付け、靴を履くこと（サンダルは禁止）。
- 2) 患者さんや他の医療スタッフと接する際には大人としての礼節を保ち、態度、言葉遣いに気を配ること。特に、患者さんと接する際には、実習に協力していただくことに対する感謝の気持ちを忘れないこと。
- 3) 守秘義務、個人情報の管理には常に留意し、患者さんのプライバシー保護にも気を配ること。また、予断や想像に基づく無責任な情報は決して伝えないこと。
- 4) 欠席、遅刻の場合は必ず届け出ること。

広島市立広島市民病院

【実習の内容】

- 1) 第1週の月曜日午前中にオリエンテーションを行う。
- 2) 第1週の月曜日に指導医を割り当てるので、以後は実習期間中、常時指導医と行動を共にすること。指導医の受け持つ患者と一緒に診療し、主治医団の1人として入院から退院までの医療に参加すること。具体的にどのような診療行為を行うかは、逐一指導医の指示を仰ぐこと。
- 3) 病歴聴取や診察で得た所見、また、その後行われた検査の結果や今後の治療方針など、主治医がカルテに記載すべき事柄については、すべて学生用の紙カルテに記載すること。これは医師が実診療に使うカルテ（電子カルテ）とは別物であるが、主治医として実際に診療用のカルテを書いているつもりで、すべての情報を漏らさず正しい書式で記載すること。
- 4) 木曜日の回診の際には、患者の概要と現在の治療の進行状態を簡潔に指導医に提示すること。また、火曜日と木曜日のカンファレンスでは既定の時間内で発表できるよう患者情報をまとめ、事前に準備しておくこと。

【当科の週間スケジュール】

	行事、等	担当	場所	時間
月	オリエンテーション・病棟診察 手術 症例カンファレンス	別宮部長	病棟 手術室 病棟カンファレンス室	8:00－8:30 8:45－17:15
火	病棟診察 外来見学 外来検査	平田副部長	病棟 泌尿器科外来	7:30－8:30 8:45－17:15
水	病棟診察 手術	高村医師	病棟 手術室	8:45－17:15
木	外来見学 検査 入院カンファレンス・病棟回診	平田副部長	病棟カンファレンス室 泌尿器科外来 病棟	8:30－12:00 13:00－17:15
金	病棟診察 手術	江原主任部長	病棟 手術室	8:30－12:00 13:00－17:00

広島市立広島市民病院

【評価】

学生の評価は以下のように行う。

評 価 項 目	配 点
指導医による学生の行動内容の評価	30 点
回診での患者提示のでき具合	10 点
カンファレンスでのプレゼンテーション	10 点
学生用カルテの内容	10 点
ポートフォリオの内容	20 点
部長試問	20 点

【実習指導医】

江原主任部長

別宮部長

高村医師

河田医師

野田医師

三宅後期研修医

宇埜後期研修医

【参考図書、文献】

- 1) STEP 泌尿器科学
- 2) ベッドサイド 泌尿器科学
- 3) EAU pocket guideline 2015